

【三重県三重郡川越町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及びクラウドを活用し、多様な環境や特性に応じた学びを通して、これからの時代を生きていくための基礎となる力を身につけた子どもを育成することにより、誰1人取り残すことのない、学びを実現するため、具体的に次の3つの姿を目指します。

- (1) 自ら定める目標の実現に向けて、学ぶ内容や学ぶ方法を自己決定するとともに、学びの状況を振り返りながら、自己調整し、改善を行いつつ学び続けていく子どもの姿
(自立する力 主体的な学び)
- (2) 自他のかけがえのない価値を理解・尊重するとともに、自己肯定感を高め、価値観や文化の多様性を認め合い、いつでもどこでもだれとでもつながりながら、相互の学びや考えを参照し、他者と共生する子どもの姿(共生する力 時間・距離を超えた協働)
- (3) 学びの活動を通して、情報機器の基本的操作や活用方法を習得できるよう取り組むとともに、情報を収集・整理・分析し、感性豊かに想像・表現・発信する子どもの姿
(創造する力 新たな価値の創造)

2. GIGA 第1期の総括

本町には小学校が2校、中学校が1校あり、1人1台端末の整備については、令和元年度に通信ネットワークと各校児童生徒の3分の1の端末台数を整備、令和2年度には国のGIGAスクール構想を踏まえ、全児童生徒に端末を整備し、令和3年度から授業及び家庭学習において端末を活用しています。

このような中、全校児童生徒がICTを利用した際に通信に負荷がかかり過ぎ、適切な速度が出ていないなど授業に支障が生じています。また、端末が壊れた際は、予備機の台数が限られているとともに、修理に時間を要しているため授業で活用できない状況があります。

これらを踏まえ、次期更新時には、十分な予備機(児童生徒数の15%)を確保するとともに、端末が日常的にストレスなく利活用することができる通信帯域の確保するため、通信ネットワークを再構築します。

3. 1人1台端末の利活用方策

常に学びの環境を確保するため、適切に端末(予備機を含む。)を更新し1人1台端末環境を引き続き維持しながら、次のとおり利活用を図ります。

(1) 1人1台端末の積極的な活用

学校の授業だけでなく、家庭学習や学校・家庭間の連絡など様々な場面において、1人1台端末の活用を進めます。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

子どもたちが、自ら定める目標の実現に向けて、目的や場面に応じて ICT を使い分けて効果的に活用することにより、学び内容や学ぶ方法を自己決定する力を育成します。

また、教員と児童生徒、あるいは児童と生徒がお互いに ICT を活用して相互の学びや考えを共有するなど協働的な学びを進めます。

(3) 学びの保障

目指すべき姿の「誰一人取り残すことのない、学びの実現」に向けて、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒、日本語指導など、授業において困難ごとがある児童生徒に対して、ICT を活用します。